

ドキュメンタリー映画

残すということ

一つの地域の物語は、
きっと、あなたの地域にもつながっている。

SPOTLIGHT FILMS

監督・撮影・編集 山本晃大

この映画について

映画『残すということ』は、徳島県勝浦町を舞台のスタートに、
家族、仕事、自然、信仰、文化を通して、「未来へ何を残すのか」を見つめる
ドキュメンタリー映画です。

一つの地域の物語でありながら、そこに描かれる問いは、
どの地域にもつながっています。

なぜ、人は残そうとするのか。

人口減少や担い手不足、文化や自然の継承など、
地域が抱える課題はそれぞれ違います。

それでも、「大切なものを未来へ残したい」という想いは、
きっと多くの人の中にあります。

この映画は、観る人自身が、自分の家族、自分の地域、
自分の人生に置き換えて考えるきっかけとなる作品です。

SPOTLIGHT FILMS

五人の語り手

五つの想いが、一つの問いにつながる。



家族の想いを残す

司法書士 **山本 達夫 さん**

司法書士として、相続や遺言など多くの方の人生の節目に寄り添ってきました。故 山本圭一氏の想いや葛藤、地域の未来を願って歩み続けた姿について語ります。



先代の想いを残す

株式会社ナカテツ 専務取締役 **笠井 武 さん**

地域の仕事と雇用を支えてきた株式会社ナカテツ。先代副社長・置田さんとの思い出を振り返りながら、人を育て、雇用を守る想いについて語ります。



林業を残す

一般社団法人 かみかつ森林環境公社 代表理事 **西 利一 さん**

時代とともに木の価値が下がり、山を守る仕事は担い手不足という課題にも直面しています。急斜面に木を植え、棚田を築いた先人たちの凄さにも触れます。



信仰心を残す

中津峰山如意輪寺 住職 **山田 弘乗 さん**

「なぜ人は何かを残そうとするのか」という問いについて語っていただきました。お寺は、人々の日々の参拝の積み重ねによって受け継がれていくものだと思えます。



文化をつなぐ

株式会社一鴻 代表取締役
／阿波おどり未来へつなぐ実行委員長 **庄野 浩司 さん**

徳島の食文化を届ける事業を営みながら、阿波おどりを未来へつなぐ活動にも取り組んでいます。コロナ禍でも文化の火を絶やさないために動き続けた想いを語ります。

あなたは、未来へ何を残しますか。

上映会のご相談・お問い合わせ
SPOTLIGHT FILMS 山本晃大
info@spotlight-allone.com